

自然な聞こえを  
届けたい

## リオネットが目指すのは “使っていることを忘れるほど 自然体でいられる補聴器”

今年1月から、補聴器と聴力検査機器のブランドを統一し、新たにスタートした「リオネット」。進化し続ける補聴器の世界において、リオネットが目指すのは“自然な聞こえ”です。AIを搭載してより理想に近づいた『リオネット2』の開発者・山田新さんにお話を伺いました。



山田 新さん  
リオン 技術開発センター  
製品・技術開発室  
補聴器開発G



### AI搭載により不快な騒音を抑制

1948年に日本初の量産型補聴器を発売し、昨年75年を迎えたリオネット。聞こえのエキスパートブランドとして培ってきた技術やノウハウをいかし、より理想に近づいた新製品『リオネット2』を発売しました。開発に携わった山田新さんは「補聴器をつけていることを忘れるほど、毎日を自然体で過ごしていただきたい」との思いを

込めて開発しました」と言います。

『リオネット2』は最新の技術を結集し、補聴器の中核となるデジタル信号を処理するエンジンを一新。よりクリアで自然な聞こえを実現しました。また、人工知能(AI)を搭載し、AIによる騒音抑制が可能となりました。膨大な音環境を学習したAIが、聞こえてきた音が会話音なのか騒音なのかを瞬時に判断して騒音を抑制

※一部機種を除く

します。これによりさまざまな場所で聞こえを最適化します。

### 大容量バッテリーの充電式で 一日中使っても安心

『リオネット2』は使いやすさの点でも進化し、安心感も増しています。

「外出先で補聴器の電池が切れないか心配だという方がいらっしやいます。『リオネット2』はフル充電で28時間使用できるので、安心してご使用いただけます」と山田さん。

### 大事にしているのは使い続け られるまで寄り添うこと

最新の機能を搭載していても、使用する方に使い続けてもらえなければ、補聴器はその真価を發揮することはできません。

「補聴器は慣れるまでに時間がかかります。この期間を一人でトレーニングするのはなかなか難しいものです」。そこで、リオネットは国産補聴器メーカーとして、「お客さまに

「また、生活のシーンに合わせて聞こえ方を調整したいということがあります。そんなときのためにスマホの専用アプリから音質などを自分で調整できる『セルフ調整機能』がついています」。難しく感じられるスマホ操作ですが、シンプルで操作しやすいデザインで、簡単に調整できます。こうして使用時の満足度を高めるのももちろん、調整後のデータは補聴器に保存されるため、次回の調整(フィッティング)に反映することもできます。

ずっと使い続けていただける補聴器をお届けする」というポリシーを定め、全国のリオネット販売店と協力して補聴器選びや音に馴染むためのトレーニングなどを支援しています。

リオネットは一人ひとりの使用者に寄り添い、継続してフォローするなど、いつまでも快適に使える体制を整えています。

その聞こえのためにすべてを。

**RIONET**

お客様コールセンター 0120-2933-76 (受付時間 9:00~21:00)



**RIONET 2**  
リオネット



一人ひとりの耳の形にあわせて作るオーダーメイド補聴器。  
色はスモーキーブラック(左)とアッシュブラウン(右)の2色。

詳しくは下の『リオネット2』特設サイトをご覧ください。



聞こえの  
エキスパートブランド **RIONET**

75年の歴史を誇る「リオネット補聴器」は、聴力検査機器をはじめとする医用検査機器を開発・製造するリオン株式会社の補聴器ブランドです。

このたび、これまで双方が培ってきた技術やノウハウをいかすべく、補聴器と医用検査機器のブランドを統一し、新たに「RIONET」としてスタートします。難聴の発見から解決まで聞こえ全体をサポートし、聞こえに不安や悩みを抱える方に喜びを届けるといった目的のもと、聞こえのエキスパートブランドとしてよりよい聞こえに貢献していきます。